

平成25年度国富町教育基本方針

国富町教育委員会は教育基本法の理念のもとに、「元気な国富を創り支える人づくりをとおして町づくりに貢献する教育の創造」を活動の指針におき、豊かな人間性と創造性を備え、郷土に誇りと愛着をもつ人間の育成を目指し、次のことを基盤に据えて活気あふれる教育環境を創出する。

- 1 人間尊重を基調として、「たくましいからだ 豊かな心 すぐれた知性」をそなえ、地域の伝統を重んじ柔軟な国際感覚にあふれた、心身ともに「元気な国富の子ども」の育成を図る。
- 2 社会を構成する地域、家庭、学校の教育機能を高め、それぞれの役割と責任を自覚しつつ、相互に連携しながら、生涯学習の充実発展に向けて町全体で教育の向上に取り組む機運を醸成する。
- 3 教育に携わる者は、信頼され尊敬される教育環境の形成を目指して、絶えず研究と修養に励みマネジメントサイクルの機能を生かしながら、より質の高い責務遂行に努める。

1 平成25年度努力目標

- 1 第五次国富町総合計画及び第二次宮崎県教育振興基本計画を受けて、「元気」「ふるさと」「つながり」「自立」をキーワードとする「くにとみ教育ビジョン」を策定し、今後の教育の在り方について方向付けをする。
- 2 生涯学習社会の実現に向けて一人一人の自己実現を図り、いつでも・どこでも・だれでもが学習やスポーツに親しむ機会を拡充し、心のふれ合いと結びつきを高め、『一人1学習1スポーツ』の推進に努める。
- 3 児童生徒がたくましく未来を切り拓いていけるよう、職員研修や支援体制の充実による基礎学力の向上と、生徒指導の充実による心豊かな人間性育成、体育や食育の推進による健康増進など「生きる力」の育成に努める。
- 4 学校・家庭・地域が一体となった取組を推進する中で、家族のぬくもりや郷土に対する誇りと愛着を育みながら、積極的に芸術文化の向上や文化財の保護活用に努める。
- 5 体育施設の整備・充実により、競技力の向上や町民総スポーツ運動を推進し、町民が生涯にわたって体力の向上や健康増進を図るための環境整備に努める。

2 平成25年度努力事項

(1) 生涯学習の推進・充実

- ア 「くにとみ教育ビジョン」策定
- イ 生涯学習推進体制の充実
- ウ 生涯学習機会の拡充
- エ 学習情報提供・相談体制の充実

(2) 学校教育の充実

① 学力向上対策の充実

- ア 町並びに各学校での具体的実践
- イ 職員研修の充実
- ウ Web学習単元評価システムを生かした実践
- エ 学力向上推進協議会の取組と教育研究センターとの連携
- オ 学校補助職員制度の活用

② 教育環境の充実

- ア 新学習指導要領の実施に伴う環境整備
 - ・ 年間指導計画の整備、見直し
 - ・ 時数確保と校時程の工夫改善
 - ・ 新たな学習内容に係る教材教具の開発と整備
- イ 小中一貫と連携に係る研究実践
 - ・ 小中一貫校の研究
 - ・ 小中学校9か年を見通した教育課程の研究推進
- ウ 学校施設の整備・充実
- エ デジタル化に対応した学習環境の整備

③ 学校経営の充実

- ア 地域に根ざした学校経営の推進
- イ 防災教育、防災体制の見直し
- ウ 教職員評価制度の活用
 - ・ 管理職の組織マネジメント力の向上
 - ・ 役割達成度評価に係る重点目標と達成手段の構築
 - ・ 職務行動評価に係る専門性の確立
- エ 学校評価の工夫
 - ・ 学校関係者評価委員会設置を踏まえた改善策の実施と公表
- オ 地域と連携した教育活動の推進
 - ・ 「くにとみ学」及び毎月1日の「あいさつの日」の推進
 - ・ 地域（歴史・文化・産業）を知る教育活動の推進
 - ・ 地域人材の活用

④ 教育内容の充実

- ア 基礎的・基本的事項の指導の徹底

- ・ 学力・学習状況調査の結果分析に基づいた指導の工夫
- ・ NRT及びCRTの結果分析による指導視点の明確化
- イ 読書活動の推進
 - ・ 毎月15日「読書の日」の取組強化
 - ・ 「家読（うちどく）」の推進と効果的な学校図書館の運営
- ウ 指導方法の工夫・改善
 - ・ 言語活動や「習得・活用・探究」の流れを意識した授業の展開
 - ・ 主体的な学びを育てる体験的、問題解決的な学習の取組
- エ 学習習慣の確立
 - ・ 学力調査等の結果分析に基づいた具体的指導の工夫
 - ・ 小中一貫した学習習慣・態度の形成
- オ その校ならではの特色ある教育活動の推進
 - ・ 学校の特色を生かした教育活動の推進
 - ・ 児童生徒の主体性を踏まえた内容構成
- カ キャリア教育の推進
- キ デジタルコンテンツの開発と共有
- ⑤ 命を尊び豊かな人間性を培う教育の充実
 - ア 人間尊重の教育の推進
 - ・ 人権教育に係る研修会の実施
 - ・ 学級及び部活動での適切な交友関係の構築
 - イ 生徒指導の充実
 - ・ 規範意識を高める適切な対応
 - ・ いじめや不登校等に対する適切な対応
 - ウ 道徳教育の充実
 - ・ 命を守る道徳教育の充実
 - ・ 規律を守る道徳教育の充実
 - エ 体験学習・社会奉仕活動の推進
 - ・ 地域の行事への積極的な参加
 - ・ JRC活動の推進
 - オ 芸術・文化活動の推進
 - ・ 地域の史跡や文化財を知る学習活動の工夫（地域人材の活用）
 - ・ 地域の伝統や文化に親しむ機会の充実（地域人材の活用）
- ⑥ 体育・健康教育の充実
 - ア 学校体育の充実
 - ・ 活動する時間の確保と運動の生活化への取組
 - ・ 部活動の充実
 - ・ 実技指導に係る研修会への参加
 - イ 体力向上プランに基づく体力・運動能力の向上
 - ウ 健康・安全教育の推進
 - エ 食に関する指導の充実
 - ・ 栄養教諭や学校栄養職員と連携した授業の実践
 - ・ 食に関する全体計画の見直しと「弁当の日」の取組推進

⑦ 特別支援教育の充実

ア 校内の支援体制の整備

- ・ 通常の学級における特別な支援を要する児童生徒への適切な対応

イ 特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担当教員の専門性の向上

ウ 特別支援教育に関する校内研修の充実

- ・ 特別支援学校との連携

エ 就学指導委員会の組織及び運営の改善

オ スクールサポーターの活用と保護者への理解啓発促進

⑧ 教職員の資質の向上

ア 学校の教育的課題解決に向けた校内研修の充実

イ 個々の課題に即した個人研修の意欲的推進と研究論文への応募

ウ 武道の指導に伴う安全対策

エ 教職員研修会（講演会）の開催

オ 学校訪問（計画・要請）の充実

(3) 社会教育の充実

① 社会教育活動の充実

ア 青少年健全育成の推進

- ・ 青パトによる町内見守り
- ・ 青少年育成町民会議だよりの発行

イ 学習機会の拡充

ウ 人権教育の推進

エ 家庭・地域社会の教育力の向上

オ 社会教育団体の育成

カ 学校支援地域本部事業の充実

② 社会教育施設の整備充実

ア 社会教育活動の充実を支える施設の整備

イ 図書館の効果的運営と充実

ウ 視聴覚機器の整備と活用

(4) 芸術文化の振興と文化財の保護活用

① 芸術文化活動の推進

ア 芸術文化活動の奨励

イ 芸術文化団体の育成

ウ 文化施設の整備・充実

② 文化財の保護と活用

ア 文化財の保護・活用と古墳を活かした町づくり推進

イ 伝統文化の継承

ウ 家庭・地域社会における郷土の歴史民俗に対する理解の向上

(5) スポーツ・レクリエーション活動の推進

- ア スポーツ推進委員の活性化と生涯スポーツの推進
- イ レクリエーションの普及推進
- ウ 指導者の育成と体育協会・スポーツ少年団等の活動支援
- エ 優れたスポーツ団体や個人の顕彰
- オ 体育施設の整備・充実
- カ 総合型地域スポーツクラブの検討

(6) 新しい時代に対応する教育の充実

- ① 環境教育の推進
- ② 国際理解教育の推進
 - ア 学校における国際理解教育の推進
 - イ 日本の文化・伝統に親しむ活動の推進
- ③ 情報教育の推進
 - ア 情報活用能力の育成
 - イ コンピュータ・インターネットの有効活用
- ④ 福祉教育の推進

3 平成25年度主な実践事項

(1) 第26回国富町ふれあい短歌大会（小・中・高校生及び一般対象）

短歌文化の普及・浸透を図るため、町民皆詠を目指す。

- ① 内 容
 - ア 著名歌人による講演会（予定；永田和宏氏）
 - イ 県内歌人による応募作品の歌評
 - ウ 入賞作品の表彰

- ② 期 日 平成25年8月4日（日）

(2) 第8回国富町健康ウォーキング大会

町制50周年記念事業の一環として、町民の健康増進を目的に始まった国富町健康ウォーキング大会を、レクリエーション協会へ委託して実施する。

- ① 実施期日 平成25年11月10日（日）

- ② 企画内容

- ア コース選択
- イ コースの安全確認及び整備
- ウ 大会要領の作成と大会運営協力

(3) 健全な児童生徒の育成事業

平成10年度に県教育委員会から本庄中学校区が「心の教育充実事業推進モデル地区」に指定されたことを契機に、平成11年度より町単独で全中学校区に下記の事業をしている。本年度も、「生きる力」の核となる豊かな人間性を備えた児童生徒の育成を図るハートフラワー事業に重点を置き、美しいものや自然に感動する心、命あるものを大切にする

心を育む「感性の教育」に努める。

① 第13回中学生講演会

生徒に「夢」や「希望」を与えていただくような著名な講師を招き、町内3中学校の生徒が一堂に会する講演会を開催する。

ア 期 日 平成25年11月21日(木)

イ 会 場 国富町中央体育館

ウ 講 師 未定

② クリーン国富事業への参加(河川・道路の清掃)

ア 河川の清掃 7月7日(日)・・・7月第1日曜日

イ 道路の清掃 8月4日(日)・・・8月第1日曜日

③ 道徳の時間の授業参観(保護者及び一般住民に公開)

④ 花いっぱい運動

幼稚園及び小・中・高等学校で苗をプランターで育て、咲いた花を校庭や街頭に並べ優しい心の育成や環境美化に寄与する。

(4) 第47回新春子どもの声を聞く会

新春の1月10日(金)、町内全小中学校の児童生徒の代表者による、新年を迎えての将来の夢や抱負を語る発表会を開催する。

① 題材は将来の夢や希望など

② 各学校代表1名による口頭発表

③ 原則として保護者送迎依頼

(5) 第19回読書感想文コンクール(町内児童生徒対象)

① 感想文図書は自由選択

② 小中学校とも原則として学級1点

③ 感想文集を作成

(6) 第30回新春席上揮毫書き初め大会(町内小・中学生・高校生対象)

書道文化の振興と向上及び「書」を通じた交流を図るため、書き初め大会を実施する。

① 期 日 平成26年1月5日(日)

② 参加者 小学生 中学生 高校生

③ 会 場 国富町武道館

(7) 教職員研究論文募集(町内7校の教職員対象)

国富町の教育力並びに本町教職員の資質の向上を目的とする。

(8) 学校職員交通安全研修会

児童生徒の教育に携わる者として、交通ルールの遵守及び交通安全に貢献することは当然の責務である。この観点から学校職員対象の研修会を実施してきたが、本年度開催は未定。

(9) 教育相談の充実

不登校、いじめ、その他学校生活に不安や悩み等を抱える児童生徒への支援活動としてスクールサポーターやスクールアシスタントと連携した教育相談を行い、児童生徒の円滑な就学支援に寄与する。

なお、教育相談の形式は、学校訪問、教育相談室への来訪、家庭訪問によって行う。

① 保護者への相談活動

ア 児童生徒の生活相談

イ 児童生徒の自立相談

- ウ 不登校児童生徒への学習支援
- ② 教職員への相談活動
 - ア 登校を渋る児童生徒の対策
 - イ 不登校児童生徒の対策
 - ウ 児童生徒の学業相談
- ③ 児童生徒への相談活動
 - ア 学校生活の不安や悩み相談
 - イ 不登校児童生徒の学習支援

(10) 児童生徒学習支援相談の充実

教育相談や適応指導、学習指導、等々、個に応じた適切な指導・支援を行うことにより、不登校等状況にある児童生徒の学校生活への復帰を図る

- ① 指導曜日と時間
 - ア 毎週 月曜日・水曜日・金曜日
 - イ 午前9時～午後5時
- ② 場 所
 - ・ 国富町農村環境改善センター2階 教育相談室

(11) 子ども安全対策

登下校及び校内の安全対策として、下記の取組を継続して実施する。

- ① 防犯ブザーと反射タスキの配布
- ② 子ども安全パトロール隊への協力依頼
- ③ 学校安全研修会の推進
 - ア 不審者対策
 - イ 声かけ等対策

(12) 子どもギャラリーの運営

各小・中学校に展示してある優れた作品、心温まる作品を学校だけでなく広く町民に紹介するねらいから、農村環境改善センターロビー、町立図書館ロビーに展示する。

- ① 各学校を1箇月単位で割り当て、絵画・作文・書道などの作品を10～20点程度依頼して展示する。
- ② 壁面パネルに展示する。
- ③ 展示期間は各展示場所2週間程度とし、回覧方式で展示する。

(13) 中学生野外農業教室

農業の歴史や営農の様子を学習することにより、農業の役割を理解し、併せて命や環境を大切に「食」への感謝や郷土の自然や特色を感じる「豊かな心」を育てる。

- ① 町内3中学校の1年生を対象とする。
- ② 水稻共同育苗施設、野菜集出荷施設、せんぎり大根集出荷貯蔵施設、施設園芸ハウス、県総合農業試験場をバス研修する。
- ③ 期 日 平成26年3月（県立高校入試日）